

NUXX

NPK-10 Potabile Digital Piano



安全上のご注意 必ずお守りください

■お使いになる人やほかの人への危害、財産への損害を未然に防ぐために、必ずお守りいただくことを説明しています。

警告

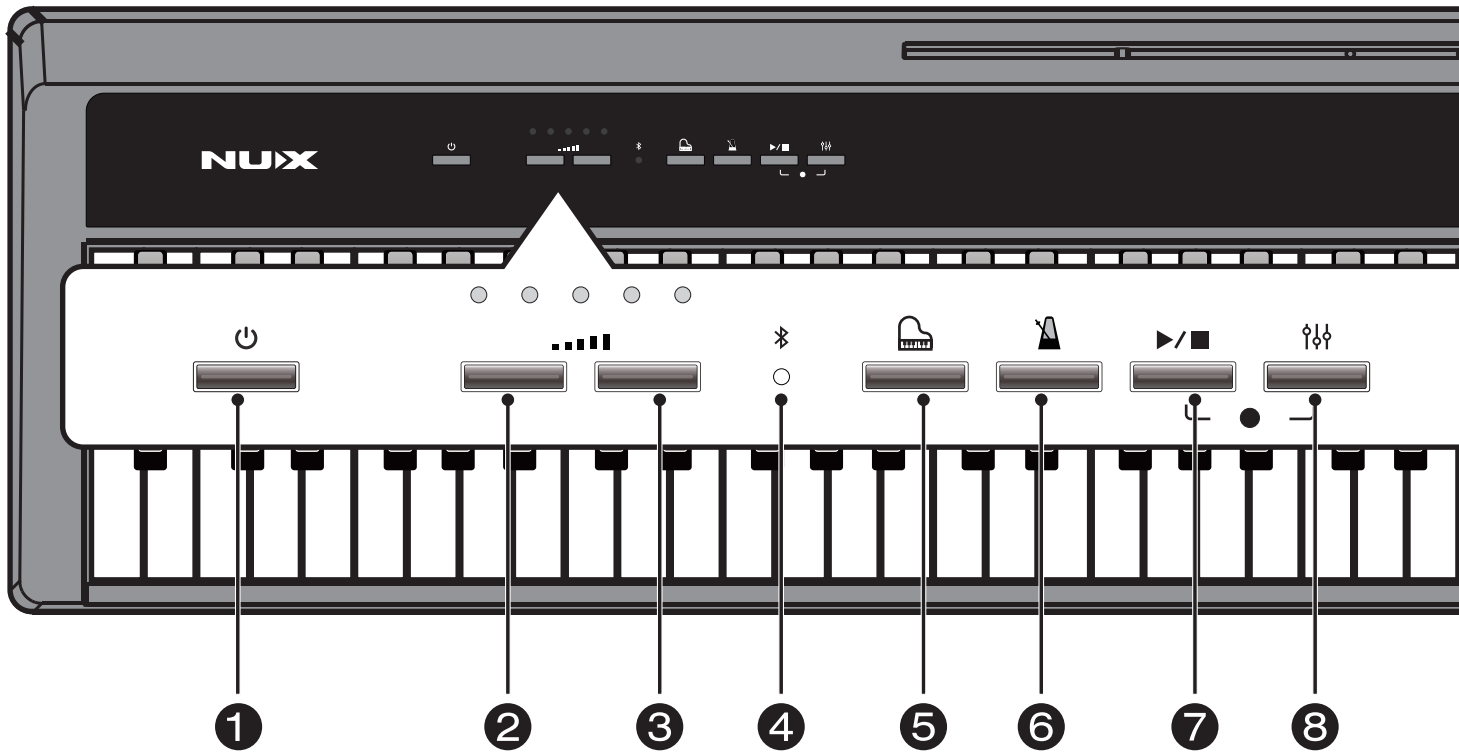
- ・**異常がある場合はただちに使用を中止する**：焦げくさいにおいがする、煙が出ている、物や液体が入ったなど、感電、火災の原因になります。直ちに使用を中止し、お買い上げの販売店へサービスをご依頼ください。
- ・**濡らさない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・**内部に異物を入れない**：水や金属が内部に入ると、感電、火災、故障の原因になります。
- ・**分解／改造はしない**：感電、火災、故障の原因になります。

注意

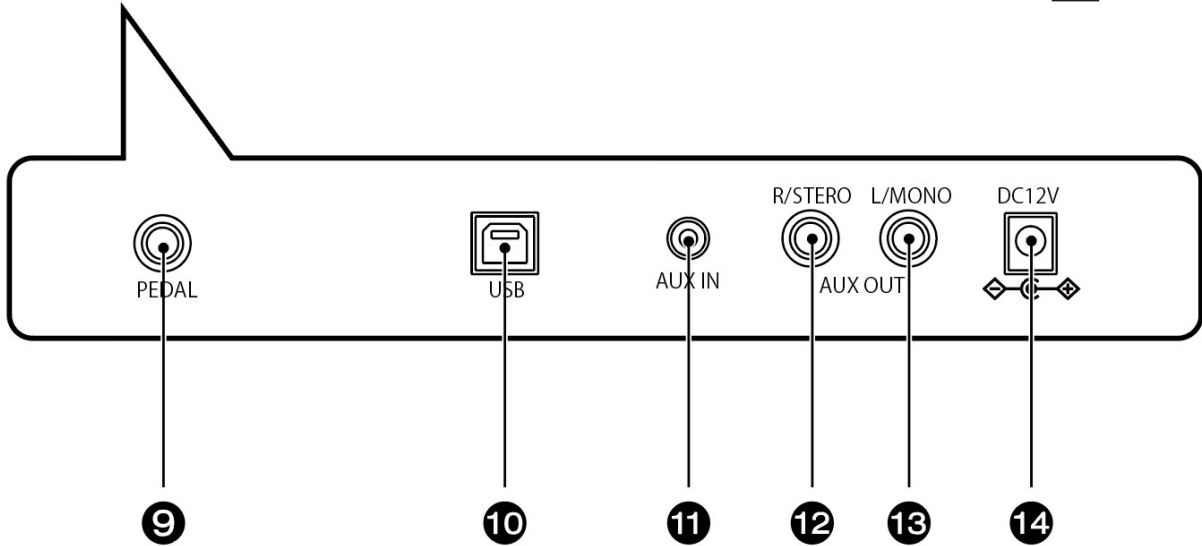
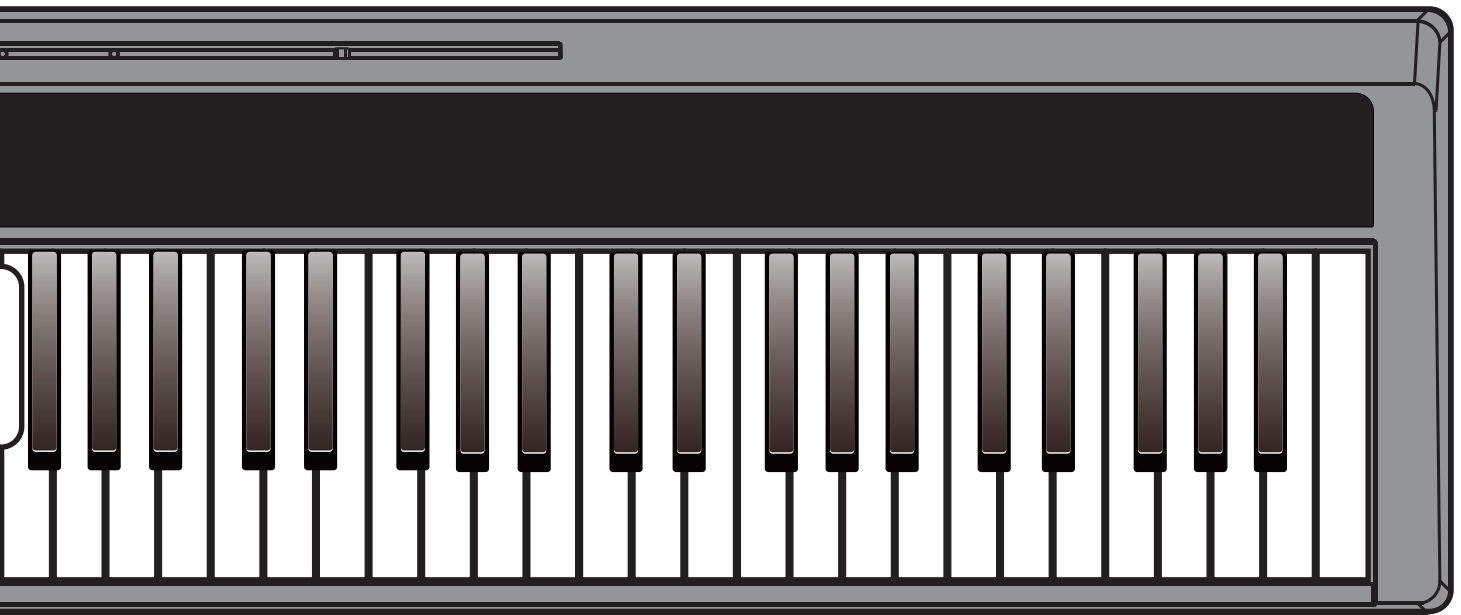
- ・**高温になる場所や熱のこもりやすい場所で使用、保管、放置しない**：火のそば、暖房器具のそば、こたつや布団の中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などで使用、保管、放置しないでください。火災、やけど、けが、感電などの原因となります。
- ・**乳幼児の手の届く所に置かない**：サイズの小さな付属品などは飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。
- ・**強い圧力を加えたり折損させたりしない**：ポケットの中やカバンの中など強い圧力がかかる場所に保管しないで下さい。火災、やけど、けが、感電、故障の原因になります。
- ・**ぬれた手で使用しない**：感電、火災、故障の原因になります。
- ・**対応した電源アダプター以外を使用しない**：付属の電源アダプター以外は本製品ではご利用いただけません。故障の原因になりますので、電源アダプターは必ず本書で指定されたアダプターのみをご利用ください。 ※廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。

コントロールパネルと入出力端子.....	4
譜面台の取り付け／鍵盤と音程.....	7
機能一覧.....	8
演奏準備	
電源とボリュームコントロール.....	10
ボタン操作.....	10
ペダルとヘッドホンの接続	
ペダルとペダルユニットの接続.....	11
ヘッドホンの接続.....	11
音色とタッチ感度	
音色を選ぶ.....	12
2つの音を重ねる（レイヤーモード）.....	12
タッチ感度について.....	12
音色の明るさ.....	12
デモソングとドラムパターン	
デモソングとドラムパターンの選択.....	13
メトロノームの機能	
メトロノームのオン／オフ.....	14
拍子を変える.....	14
テンポの変更.....	14
メトロノームの音量を変える.....	14
搭載エフェクトの使用	
リバーブの使用.....	15
コーラスの使用.....	15
ツインピアノとピッチの調整	
スプリットポイントの変更.....	16
音色の変更.....	16
各セクションのオクターブ変更.....	16
トランスポーズ.....	16
マスターチューニング.....	17
録音と再生	18
その他の機能	
オートスリープ機能.....	19
設定を保存する.....	19
工場出荷時の設定に戻す.....	19
Bluetooth® の使用.....	19
アプリの使用.....	20
技術仕様	21
リスト	22
トラブルシューティング	24

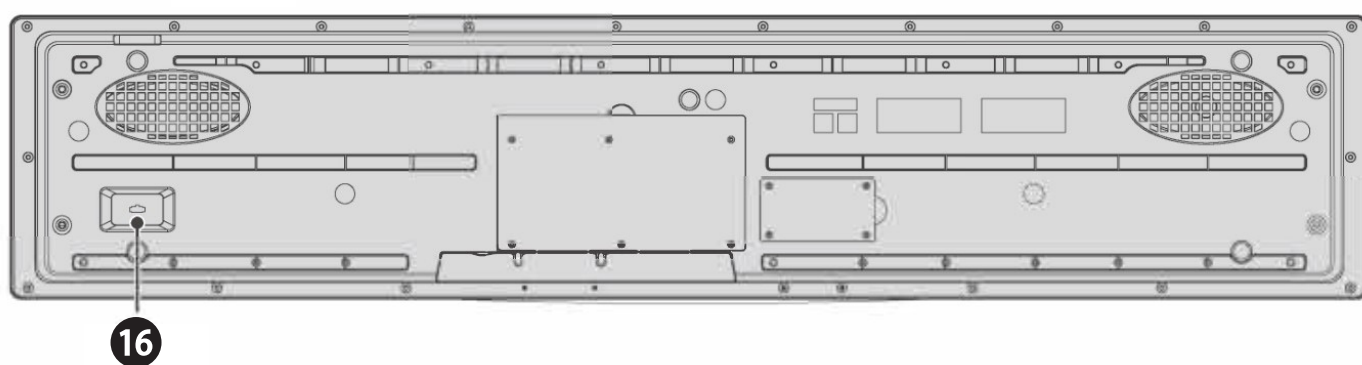
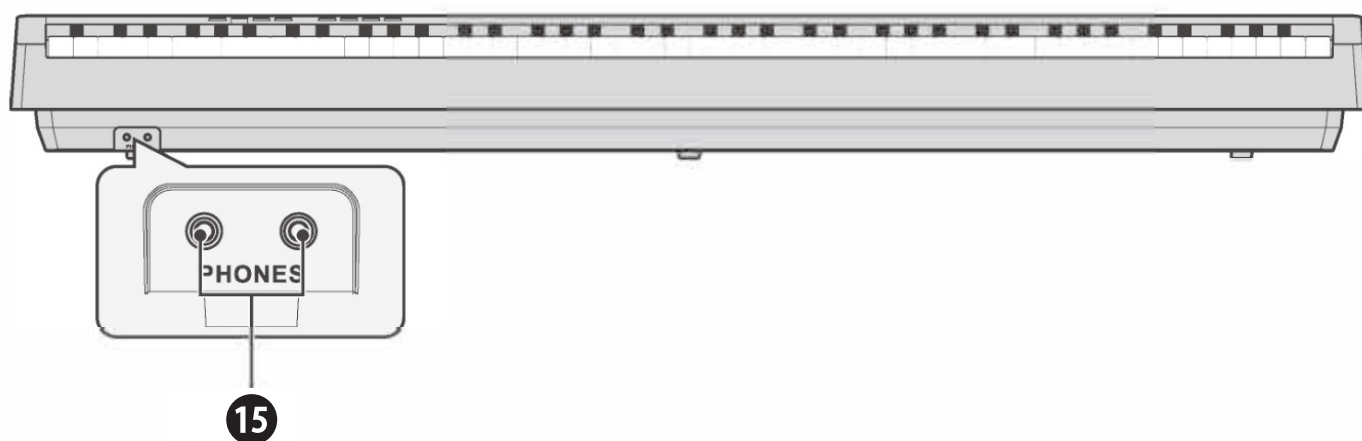
コントロールパネルと入出力端子



- | | |
|---------------------|-----------------------|
| ① 電源ボタン | ⑧ ファンクションボタン |
| ② ボリュームダウンボタン | ⑨ ペダル端子 |
| ③ ボリュームアップボタン | ⑩ USB 端子 |
| ④ Bluetooth® インジケータ | ⑪ AUX IN 端子 |
| ⑤ グランドピアノサウンドボタン | ⑫ AUX OUT R/STEREO 端子 |
| ⑥ PLAY/STOP ボタン | ⑬ AUX OUT L /MONO 端子 |
| ⑦ グランドピアノボタン | ⑭ DC IN 端子 |



コントロールパネルと入出力端子



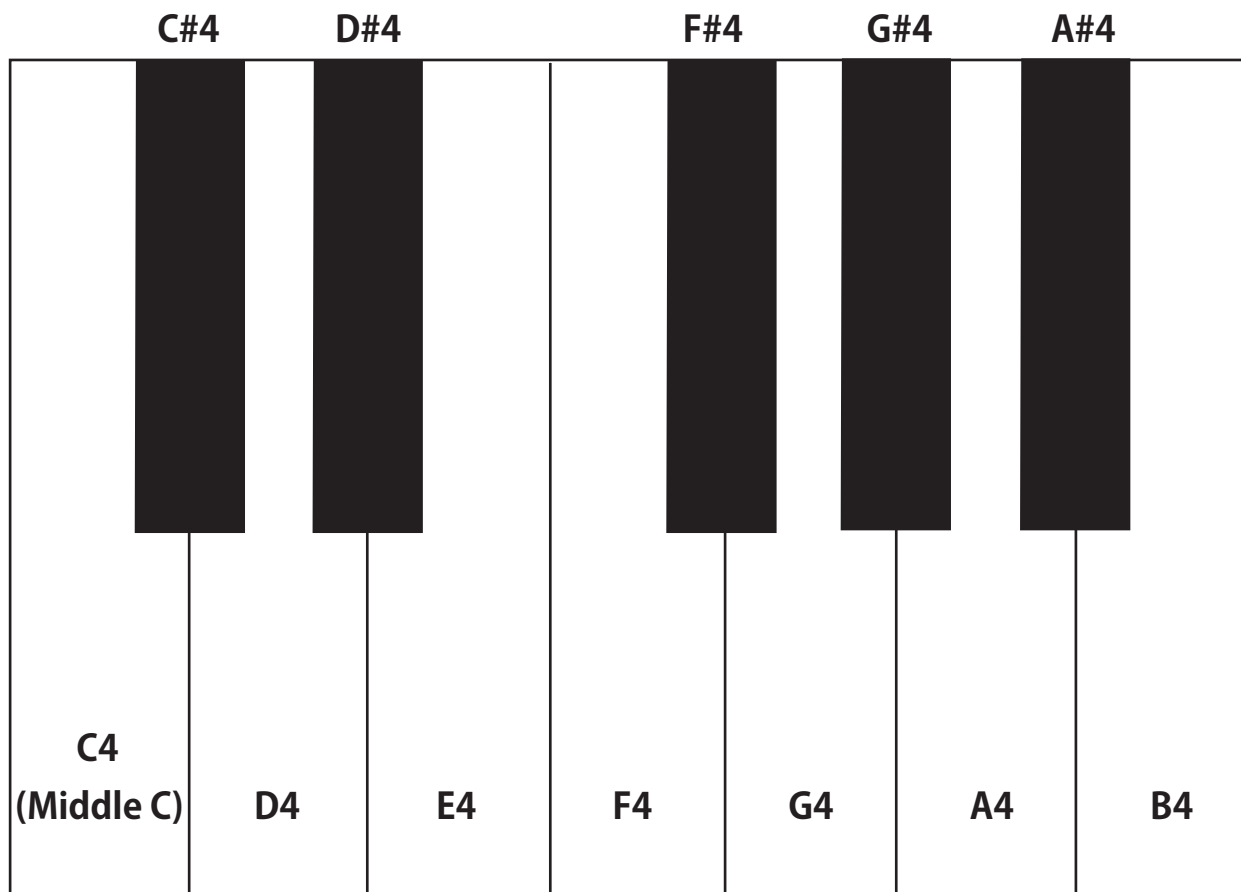
15 ヘッドホン端子

16 ペダルユニット端子

譜面台の取り付け



鍵盤と音程について



グランドピアノボタン + 鍵盤

デュアルボイスミックス
 バランス 音色の明るさ タッチ感度

鍵盤	機能
A0	CRYSTAL FX
	PIANO GRD
	WARM PAD
	E PIANO
	CHURCH ORG
	SYN BASS
	ORGAN
	SAX ALTO
#G1	KOTO
C2	標準
D2	増加 (+)
	減少 (-)
F2	標準
G2	増加 (+)
C3	重い
	標準
	とても軽い
E3	とても重い

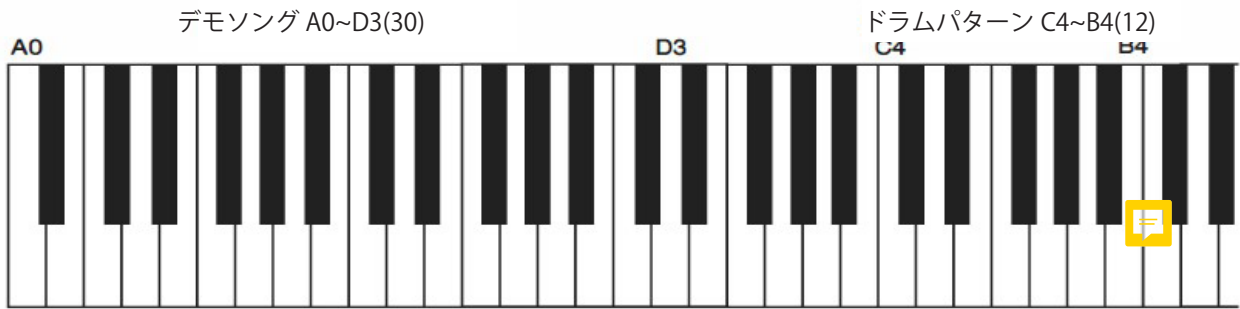
Bluetooth ON/OFF スイッチ

ファンクションボタン + 鍵盤

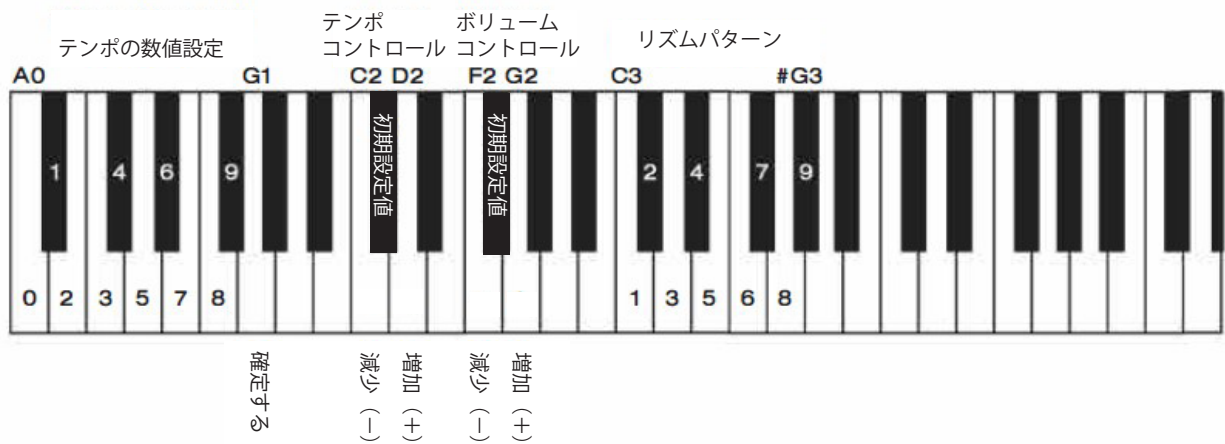
Bluetooth トランスポーズ リバーブの リバーブ マスター ツイン
 深さ チューニング ピアノ

鍵盤	機能
A0	Bluetooth ON/OFF スイッチ
C1	
#F1	TRANSPPOSE -6
	TRANSPPOSE -4
	TRANSPPOSE -2
	TRANSPPOSE -1
C2	TRANSPPOSE 0
	TRANSPPOSE 1
	TRANSPPOSE 2
	TRANSPPOSE 3
	TRANSPPOSE 4
	TRANSPPOSE 5
F2	
B2 C3	REVERB OFF
	HALL
	CHURCH
	PLATE
	STAGE
	DELAY
E3	初期設定値
F3	減少 (-)
	増加 (+)
G3	減少 (-)
	増加 (+)
A3	440 OHZ
	減少 (-)
	増加 (+)
B3 C4	ON
	OFF
D4	SPLIT POINT

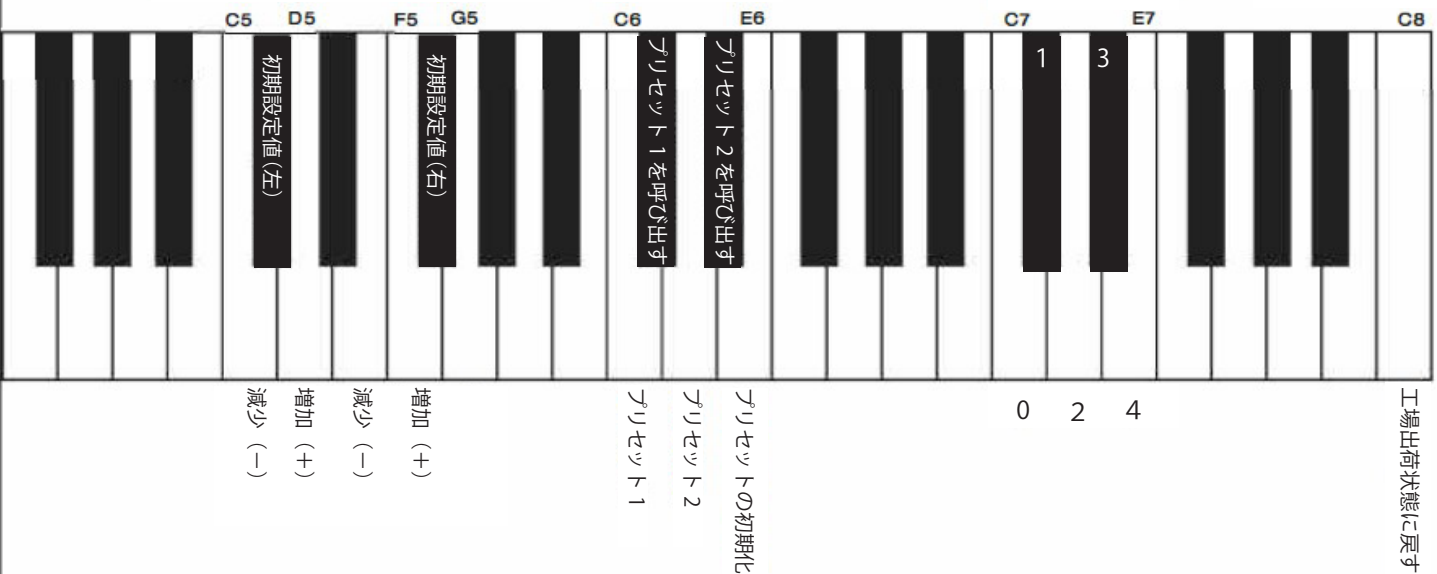
PLAY/STOP ボタン + 鍵盤



メトロノームボタン + 鍵盤



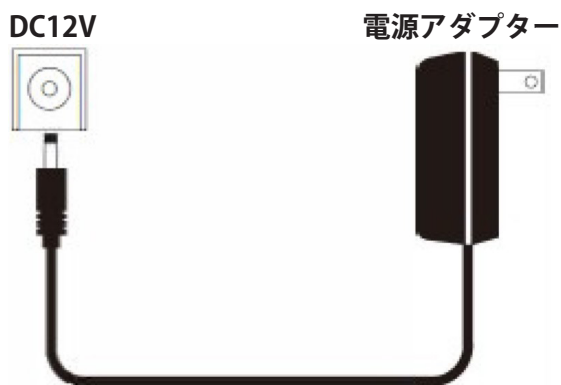
オクターブ変更 (ツインピアノモード) ユーザープリセット コーラスの深さ ファクトリーリセット



演奏準備

電源とボリュームコントロール

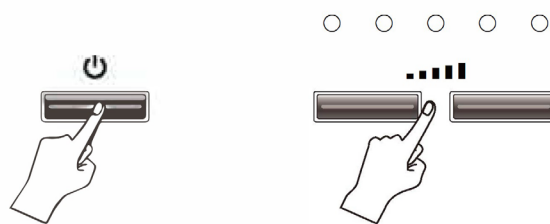
DC プラグを DC12V 端子に差し込んでください。次に、電源アダプターを AC コンセントに接続します。



付属の電源アダプター以外は使用しないでください。異なるアダプターを使用すると、本体の故障につながる可能性があります。付属の電源アダプターを他の機器に使用しないでください。電源アダプターを抜き差しする際は、最初に NPK-10 の電源を OFF にしてください。

1. 電源ボタンを押して電源を入れます。起動中はトップパネルのインジケーターが順次点灯します。電源アイコンと NUX ロゴの両方のバックライトが点灯したら、NPK-10 の演奏準備は完了です。
2. ボリュームアップ/ダウンボタンを押して、マスターボリュームを調整します。ボタンを長押しすると、より素早く音量の調整が可能です。

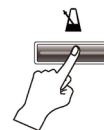
3. 電源ボタンを 2 秒間押し続けると電源が切れます。



基本操作

ボタン操作

基本的な機能は、各ボタンを押すだけで利用できます。例えば、メトロノーム・ボタンを押せばいつでもメトロノームを作動させることができ、ボリューム・アップ/ダウン・ボタンでマスター・ボリュームを調整できます。



ボタンとキーの組み合わせ

ボタンとキーの組み合わせにより、より多くの設定を行うことができます。

例えば、KOTO（琴）を選択する場合：

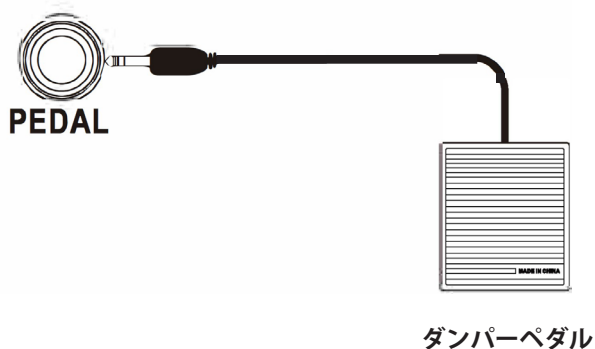
1. グランドピアノボタンを押し続けます。
2. G1 キーを押して KOTO 音色を選択します。
3. グランドピアノボタンを離します。

ペダルとヘッドホンの接続

ペダルとペダルユニットの接続

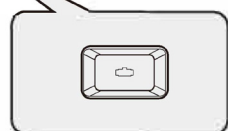
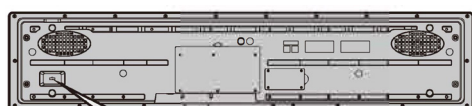
ダンパーペダルの接続

付属のダンパー・ペダルをペダル端子に接続します。

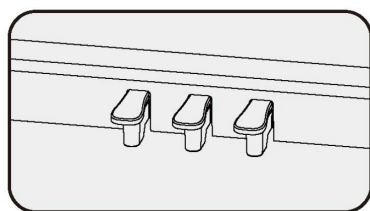


ペダルユニットの接続 (オプション)

オプションの3ペダルユニット (NPS-1) をペダルユニット端子に接続します。



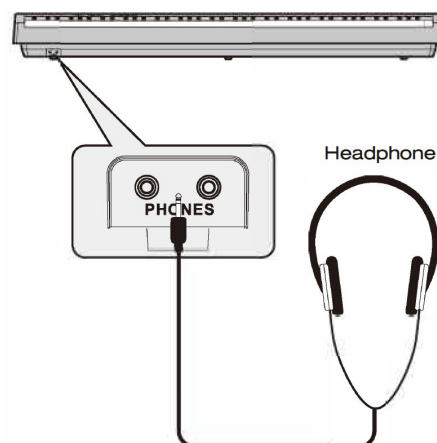
ペダルユニット端子



NPS-1 ユニット端子 (別売り)

ヘッドホンの接続

本機にはヘッドホン端子が2つあり、ステレオ・ヘッドホンを2台まで接続できます。どちらかのヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると NPK-10 の内蔵スピーカーはミュートされます。



Note: ヘッドホンを使用する前にマスターボリュームを下げてください。耳に負担がかかるため、ヘッドホンを大音量で長時間使用しないでください。

音色とタッチ感度

音色について

音色を選ぶ

グランドピアノボタンを押しながら、A0～#G1 鍵盤のいずれかを押し、音色が切り替わります。内蔵されている音色は 12 種類あり、音色リストは P22 をご参照ください。



2つの音を重ねる（レイヤーモード）

1. グランドピアノボタンを押し続ける。
2. A0～#G1 から重ねたいサウンドに一致する鍵盤を 2 つ同時に押します。

例えば、#C1 と #01 を同時に押すと HONKY-TONK と STRINGS を重ねることができます。先に押した鍵盤がボイス 1、後に押した鍵盤がボイス 2 になります。

3. グランドピアノボタンを離します。



Note：レイヤーモードを終了するには、グランドピアノボタンを押すか、単一音色を選択します。

デュアル・ボイス・ミックス・バランス

レイヤーされた 2 つの音色（Voice 1 と Voice 2）のバランスを調整できます。

1. グランドピアノボタンを押し続けます。
2. C2 キーを押すと減少、D2 キーを押すと増加、#C2 キーを押すと初期値（イコールバランス）に戻ります。（設定範囲は 1～5、イコールバランスは 3 です。3 以上に設定するとボイス 1 の音量が大きくなります。）

3. グランドピアノボタンを離して、設定を終了します。



タッチ感度について

キーボードの感度は、お好みに合わせてキーボードの感度をカスタマイズすることができます。

1. グランドピアノボタンを押し続けます。
2. C3～E3 鍵盤のいずれかを押し、設定を変更します。



Key	タッチ感度	鍵盤の状態
C3	Super Light	優しく弾いても大きな音が出ます。
#C3	Light	
D3	Medium	標準のキーボードタッチです。
#D3	Heavy	大きな音を出すには強く弾く必要があります。
E3	Super Heavy	

3. グランドピアノボタンを離すと、設定が終了します。



音色の明るさ

1. グランドピアノボタンを押し続けます。
2. F2 キーを押すと音が暗くなり、G2 キーを押すと音が明るくなります。（設定範囲は 1～5 で、初期値は 3 です）。
3. グランドピアノボタンを離すと設定が終了します。



デモソングとドラム・パターン

デモソングとドラムパターンの選択

1. Play/Stop ボタンを押し続けます。
2. A0 ~ D3 キーのいずれかを押して、デモ曲を選びます。ドラムパターンは C4-B4 キーのいずれかを押して選択します。
3. Play/Stop ボタンを押して、設定を終了します。



Note : 22 ページと 23 ページのドラムパターンとデモソングのリストをご参照ください。Play/Stop ボタンを押すと、いつでもデモソング／ドラムパターンを停止することができます。メトロノームボタンを押しながら、C2 キー（下げる）または D2 キー（上げる）を押すことで、リズムのテンポを調整することができます。

メトロノームの機能

メトロノームを使用する

メトロノームは正確なテンポで練習するための便利なツールです。

メトロノームのオン／オフ

1. メトロノームボタンを押して、メトロノームをオンにします。
2. メトロノームボタンをもう一度押してオフにします。



拍子を変える

1. メトロノームボタンを押し続けます。
2. C3～#G3 キーのいずれかを押して、好みの拍子を選択します。
3. メトロノームボタンを離して設定を完了します。

Key	拍子
C3	1
#C3	2
D3	3
#D3	4
E3	5
F3	6
#F3	7
G3	8
#G3	9

テンポの変更

メトロノームが作動しているとき、またはデモ曲が演奏されているときは、テンポを20～280bpmの範囲で調整することができます。調整方法は、以下の2つがあります：



A. テンポを上げる／下げる

1. メトロノームボタンを押し続けます。
2. C2 キーを押すとテンポが下がり、D2 キーを押すとテンポが上がり、#C2 キーを押すとデフォルトのテンポに戻ります。
3. 設定を終了するには、メトロノームボタンを離します。

B. テンポの数値設定

1. メトロノームボタンを押し続けます。
2. A0～#F1 キー（0～9に割り当て）を押して、3桁のテンポ値を入力します。G1を押して確定します。例えば76bpmを指定するには、A0（0）、E1（7）、#D1（6）、G1（確定）の順に押します。
3. メトロノームボタンを離すと、設定を完了します。

メトロノームの音量を変える

1. メトロノームボタンを押し続けます。
2. F2 キーを押すと音量が下がり、G2 キーを押すと音量を上がります。#F2 キーは音量を初期設定に戻します。
3. メトロノームボタンを離して、設定を完了します。



リバーブを使用する



1. ファンクションボタンを押し続けます。
2. C3-E3 キーのいずれかを押しお好みのリバーブを選択します。B2 を押すとリバーブをオフにします。
3. 設定を終了するにはファンクションボタンを離します。

Key	Reverb Effect
C3	Hall
#C3	Church
D3	Plate
#D3	Stage
E3	Delay
B2	Reverb Off

リバーブの深さを変える

1. ファンクションボタンを押し続けます。
2. F3 キーを押すと数値が下がり、G3 キーを押すと数値が上がります。#F3 キーは初期設定に戻します。(設定範囲は 1～5 で、初期値は 3 です。)



3. ファンクションボタンを離すと設定が終了します。

コーラスを使用する



1. ファンクションボタンを押し続けます。

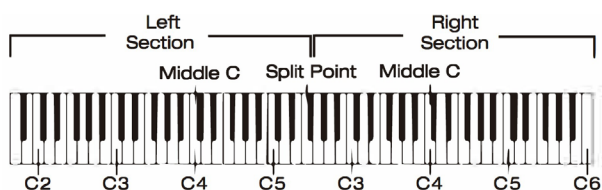
Key	Chorus Depth
C7	0/OFF
#C7	1
D7	2
#D7	3
E7	4

2. C7-E7 キーを押してコーラスの深さを設定します。
3. ボタンを離して設定を終了します。

ツインピアノとピッチの調整

ツインピアノモード

ツインピアノは、鍵盤を分割して2人で演奏できる機能です。ツインピアノモードにするには、ファンクションボタンを押しながらC4キーを押します。デフォルトのスプリット・ポイントはF4で、C3鍵盤は左セクションの'C4'に、C6鍵盤は右セクションの'C4'になります。ツイン・ピアノ・モードを終了するには、ファンクションボタンを押しながらD4キーを押します。



スプリットポイントの変更

1. ファンクションボタンを押しながら、#C4キーを押すとファンクションボタンのバックライトが点滅します。
2. A2～C7キーのいずれかを押して、新しいスプリットポイントの設定が完了すると、ファンクションボタンのバックライトが消灯します。

音色の変更

Twin Piano モードに入る前に音色を選択すると、その音色が左セクションの音色として残ります。(レイヤーボイスの場合は、メインボイス、つまりボイス1だけが残ります)。右セクションでは、Twin Piano モードで直接、単一音色またはレイヤー音色を選択できます。

各セクションのオクターブ変更

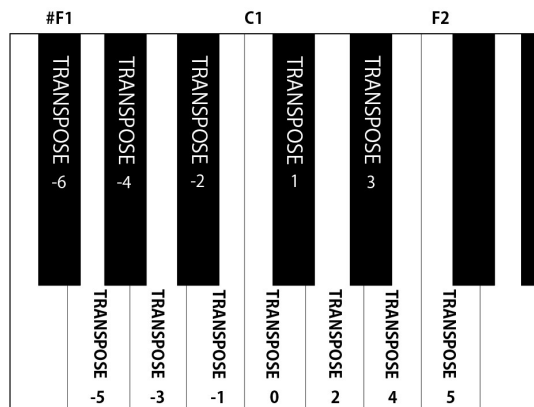
1. ファンクションボタンを押したままにします。
2. 左セクションの音程を1オクターブ下げるにはC5鍵盤を、上げるにはD5鍵盤を押します。
3. 右セクションの音程を1オクターブ下げるにはF5鍵盤を、上げるにはG5鍵盤を押します。
4. ファンクションボタンを離して、設定を終了します。

Note: ツインピアノモードがオフの場合、F5鍵盤とG5鍵盤は鍵盤全体のオクターブを移動します。

トランスポーズ

トランスポーズとは、キーボード全体の音程を半音単位で上下させることで、自分に合ったキーで演奏したり、歌手や他の楽器に合わせたりすることができます。

1. ファンクションボタンを押し続けます。
2. 鍵盤の#F1～F2のいずれかを押して、半音ずつ音程を移調します。
3. ファンクションボタンを離して、設定を終了します。



マスターチューニング

バンドの誰かが異なる基準ピッチでチューニングされた楽器を使用している場合、マスター・チューニングを調整することができます。

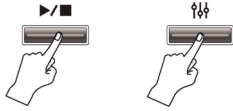


1. ファンクションボタンを押し続けます。
2. A3 キーを押すと標準ピッチが下がり、B3 キーを押すと標準ピッチが上がります。
3. ファンクションボタンを離すと設定が終了します。

録音と再生

演奏の録音と再生

本機には演奏を簡単に録音・再生する機能を備えています。



1. Play/Stop ボタンを押しながらファンクションボタンを押すと、ファンクション、Play/Stop、メトロノームボタンのバックライトが点滅し、録音待機状態になります。
2. 鍵盤を弾き始めると自動的に録音が始まり、ファンクションボタンのバックライトが消灯します。メトロノームボタンを押すと、メトロノームがオフになります。
3. 録音を停止するには、Play/Stop ボタンを押します。バックライトが消灯し、データが自動的に保存されます。
4. Play/Stop ボタンを押すと、録音した演奏が再生されます。もう一度 Play/Stop ボタンを押すと、再生が停止します。

Note: 録音中に電源プラグを抜かないでください。新たに録音を開始すると、録音データが失われます。最大約 18000 音を保存できます。

オートスリープ機能

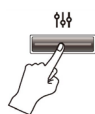
本機を1時間使用しないと、自動的にスリープモードになります。スリープモードになると、電源ボタンのバックライトがゆっくりと点滅し始めます。電源ボタンを押すとスリープが解除されます。

設定を保存する

プリセット・モード

本機ではセッティングを保存し、次の演奏時に簡単に呼び出す機能を備えています。

1. ファンクションボタンを押しながら、C6 または D6 キーを押して設定を保存します。
2. ファンクション ボタンを離して、設定を終了します。
3. ファンクションボタンを押しながら #C6 キーまたは #D6 キーを押すと、C6 キーまたは D6 キーで保存した設定が呼び出されます。
4. ファンクションボタンを押しながら E6 キーを押すと、プリセットモードが終了します。



Note: メモリーバンクは2つしかありません。既存のバンクに新しい設定を保存すると、上書きされます。また、工場出荷時の設定に戻すと、すべての設定が消去されます。メトロノームの拍子は設定した内容で保存されます。テンポは初期の設定に戻ります。必要に応じて、【テンポの変更】の説明に従ってテンポを変更することができます。

工場出荷時の設定に戻す

何か問題が発生したら、簡単に工場出荷時の設定に戻すことができます。

ファンクションボタンを押しながら C8 キーを押します。インジケーターが5秒間点滅した後、NPK-10 が自動的に再起動し、工場出荷時の設定に戻ります。

Bluetooth® の使用

内蔵 Bluetooth® モジュールにより、他の Bluetooth® 対応スマートデバイスを接続することができます。



1. ファンクションボタンを押しながら、A0 キーを押して Bluetooth® を ON/OFF します。ON/OFF の状態は Bluetooth® インジケーターで確認できます。
2. 設定を終了するには ファンクション ボタンを離します。
3. スマートデバイスの Bluetooth® 機能を ON にします。
4. スマートデバイスで "Piano Audio " を選択します。NPK-10 とスマートデバイスがペアリングされます。

本機とペアリングする前に、必ずスマートデバイスの音量を下げてください。耳に負担がかからない程度の安全な音量でご使用ください。

その他の機能

アプリの使用

本機は、iOS と Android で利用可能なアプリ "Piano Mate " に対応しています。

アプリには様々な楽譜が搭載されており、練習がもっと楽しくなります。QR コードを読み取り、お使いの端末に対応したアプリをダウンロードしてください。



"Piano Mate " を携帯端末にインストールすると、楽譜を登録して開くことができます。楽譜のページで Bluetooth をオンにし、ペアリング接続に「NUXPIANO -----」を選択します。本機と "Piano Mate " アプリの Bluetooth 接続には、Bluetooth オーディオ機能は必要ありません。デジタルピアノの電源を入れると、アプリが自動的に認識します。

モデル

NPK-10

キーボード

88 鍵

トリプルセンサー・スケール・ハンマーアクション鍵盤（エスケープメント付・象牙調）

タッチ感度：5 種類（スーパーライト/ライト/ミディアム/ヘビー/スーパーヘビー）

サウンド

サウンドチップ：Dream 5708 DSP

最大 ポリフォニー：189

トーン：12 音色内蔵

エフェクト/機能

リバーブとディレイ：5種類（ホール/チャーチ/プレート/ステージ/ディレイ、リバーブの深さ調整可能）

コーラス：深さ 4 段階

トーン・ブリリアンス：5 段階

デュアル/レイヤー：あり（ミックス・バランス調整可能）

ツイン・ピアノ：あり（スプリット・ポイント調整可能、個別にオクターブ・シフトとトーン選択可能）

オクターブ・シフト：あり（-1 ~ +1 オクターブ）

機能

Bluetooth®：あり（MIDI およびオーディオ）

トランスポーズ：半音単位で -6 ~ +5

リズム：12 ドラム・パターン

デモ・ソング：30

メトロノーム：9 ビート、テンポ範囲 20 ~ 280bpm

録音：1 曲（合計約 18000 音）

マスター・チューニング・レンジ：415Hz ~ 460Hz

ユーザー・プリセット：2 メモリーバンク

オートスリープ：あり

ペダル

ダンパー（付属）、3 ペダル・ユニット（オプション）

接続端子

USB MIDI、AUX IN、LINE OUT、ヘッドホン×2、ダンパーペダル端子、3 ペダル・ユニット用コネクターユニット

アンプとスピーカー

プリアンプ：TI プリアンプ・チップ

スピーカー：10W X 2.3" X 6" オーバルスピーカー

電源

DC 12V/2A

サイズと重量

寸法：1300mm(L) x 270mm(W) x 130mm(H)

重量：11.2kg

* 仕様は予告なく変更する場合があります。

リスト

音色リスト

Key	Sound
A0	PIANO GRD
A#0	CRYSTAL FX
B0	WARM PAD
C1	E PIANO
C#1	HONKY-TONK
D1	CHURCH ORG
D#1	STRINGS
E1	SYN BASS
F1	ORGAN
F#1	HARPSCRD
G1	SAX ALTO
G#1	KOTO

ドラムパターンリスト

Key	Drum Pattern
C4	8 BEAT
#C4	16 BEAT
D4	BOOGIE WOOGIE
#D4	COUNTRY
E4	DANCE
F4	FOX TROT
#F4	FUNK
G4	HENAN
#G4	JAZZ
A4	LATIN
#A4	R&B
B4	WALTZ

デモソングリスト

Key	Demo Song
A0	TWINKLE TWINKLE VARIATION
#A0	WALTZ,Op.34
B0	ETUDE IN F SHARP MAJOR
C1	TROIS ECOSSAISES Op.72, No.3-5
#C1	SCHERZO IN B FLAT MINOR
D1	POLONAISE A MAJ, Op.40 No.1
#D1	GAVOTTE
E1	GRANDE SONATA PATHETIQUE
F1	DEBUSSY-ARABESQUE No.1
#F1	CHOPIN-WALTZ,Op.64,No.2
G1	CHOPIN-PRELUDE
#G1	CHOPIN-ETUDE
A1	REGGAE
#A1	MAPLE LEAF RAG
B1	WINE
C2	HOLY HALL
#C2	RUSSIAN DANCE
D2	BRAHMS-CONCERTO
#D2	HAVANERA
E2	LAZY-BIRD
F2	THE NUTCRACKER:DANCE OF THE REED FLUTE
#F2	JASMINE FLOWER
G2	FLY ME TO THE MOON
#G2	ON WINGS OF SONG
A2	JAMBALAYA
#A2	DANCE OF THE SUGAR PLUM FAIRY
B2	EARLY-AUTUMN
C3	SATIN-DOLL
#C3	DONNA-LEE
D3	MERCYMERCYMERCY

トラブルシューティング

トラブル	考えられる理由 / 解決策
電源を入れた際、電子ピアノから音が出ます。	正常な動作です。
電源を入れた後、鍵盤を押しても音が鳴りません。	マスターボリュームが上がっていることを確認してください。また、本製品はヘッドホンが接続されている際に内蔵スピーカーをミュートします。
同一サウンド内で、鍵盤の位置によって音質が異なります。	サンプリング帯域によって音質が異なるため、これは仕様です。
ペダル・サステイン機能で、音によってサステイン（音が伸びる時間）が異なります。	それぞれのサウンドで適切なサステイン量が設定されているため、これは仕様です。
音量が小さすぎます。	マスターボリュームがしっかりと上がっているかをご確認ください。
一部の MIDI データが正しく送信されません（MIDI ケーブルは正しく接続されています）。	これは仕様です。デフォルト設定に依存します。
スマートフォンが近くにあるとき、本体のスピーカーから雑音が出ます。	スマートフォンからの電波干渉を受けているため、スマートフォンの電源を切るか、距離を離してください。
演奏中にピッチとキーが合いません。	ツインピアノ機能またはトランスポーズ機能がオンになっている可能性があります。ツインピアノをオフにするかトランスポーズをゼロにリセットすることで解決できます。
演奏中に音を変えられません。ピッチがキーと合いません。	ツインピアノ機能がオンになっており、スプリットポイントが最も高いピッチに設定されている可能性があります。ツインピアノをオフにして、スプリットポイントを元の状態に設定すると、問題が解決することがあります。
デモ曲が歪んだり途切れたりします。	最大出力で長時間再生すると、過熱し回路基板の自己保護システムが作動することがあります。音量を下げるか、しばらく電源を切ることで解決することがあります。

トラブルシューティング

トラブル	考えられる理由 / 解決策
演奏中に2つの音が同時に鳴ります。	デュアルボイス機能がオンになっている可能性があります。デュアルボイス機能をオフにすることで、問題を解決できる可能性があります。
トーンのピッチが違います。	トランスポーズ機能をオフにし、マスターチューニングを初期設定に戻します。
自動伴奏コード機能がありません。	本製品には自動伴奏コード機能が備わっておりません。
キータッチが以前と違います。	本機には5段階のタッチ感度があり、異なるレベルが選択されている可能性があります。タッチ感度を調整し直すか、初期設定に戻してください。

MEMO

MEMO

NUX 輸入販売元

株式会社エレクトリ

HP:<https://www.electori.co.jp/>

※本ドキュメントの弊社以外のサイトや SNS における 2 次配布は禁止致します。
また、弊社の許可なく本ドキュメント内の表現、データを使用することを禁止致します。